

教務運営研究会

教育界は激しく変わろうとしています。教育再生実行会議第4次提言や中央教育審議会答申などにより、高等学校教育・大学入試・大学教育を一体として改革する必要性が議論されるようになりました。自ら課題を発見し、それを解決するために必要な思考力・判断力・表現力を、多様な人びとと協働した主体的・能動的な学びによって涵養することが求められています。

このような状況について、東京私学教育研究所の清水哲雄所長より講演させていただき、これからの私学教育の方向性を探りたいと思います。また、1月にアルカディア市ヶ谷で実施しましたアクティブラーニングの講演が大変好評だったことを踏まえて、様々なワークショップ等でご活躍のシニアレクチャー得能絵理子様をお招きし、アクティブラーニングについてさらに学ぶ機会を設けました。そして、分科会では、皆様が教務運営で直面している諸問題についての協議や情報交換をしていただき、問題解決への手掛かりを見出す場になりたいと思います。

これからの教務運営のみならず、先生方の授業力向上にも役立つ研修になることと存じます。是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

1. 研究目標 **学習指導要領と私学の教育**
 - ・大学入試改革の及ぼす影響
 - ・教務運営上の諸問題
2. 会 期 **8月1日(土)・2日(日)・3日(月)の2泊3日(現地集合・現地解散)**
3. 会 場 **かずさアーク・オークラアカデミアパークホテル**
〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足2-3-9
TEL: 0438-52-0111(フリーダイヤル 0120-37-7070) FAX: 0438-20-5210
<http://www.kap.co.jp/>
(別紙ご案内図を参照ください)
4. 参加対象 **教務関係教職員等**
5. 募集定員 **100名**(参加申込みが100名を超えた時点で、締切ります。)
参加は1校3名までとします。
6. 参加費 **1名につき44,000円**
(2名1室利用。宿泊費〈2泊5食〉、資料印刷費)
7. 日 程 **8月1日(土) 13:00受付開始 13:30開会式 [201会議室]**
8月3日(月) 11:30解散予定

時間 月 日	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
8月1日(土)					受 付	開 会 式	資 料 説 明	講 演 I	休 憩	分 科 会	休 憩	夕 食
8月2日(日)	朝 食	分 科 会		昼 食	講 演 II		休 憩	分 科 会		休 憩	夕 食	
8月3日(月)	朝 食	分 科 会	閉 会 式									

8. 研修内容

①講 演 I

演 題 教育界 最近の動きの整理～高校教育・大学教育・大学入試の一体的改革～
講 師 清水 哲雄 一般財団法人東京私立中学高等学校協会
東京私学教育研究所 所長

《プロフィール》1969年東京教育大学理学部卒業。鷗友学園女子中学高等学校教諭、校長、中教審学校段階間の連携・接続等に関する作業部会委員、全国的な学力調査のあり方等の検討に関する専門家会議委員等を歴任。現在、鷗友学園常務理事、東京私学教育研究所所長、東京私立中学高等学校協会常任理事等を務める。

②講 演 II

演 題 アクティブラーニング流 引き込む授業の作り方
～授業構成と聞く姿勢づくり～
講 師 得能 絵理子 株式会社アクティブラーニング
アクティブラーニング・シニアレクチャー

《プロフィール》早稲田大学卒業。キャリア育成、企業改革、地方自治体改革等のプロジェクト等に従事。経済産業省主催「一流の基礎力インタビュープロジェクト」では、元 IBM 最高顧問・北城氏、ミュージシャン・坂本龍一氏などにインタビューを敢行、ウェブコンテンツとして発表、高い評価を得る。現在、企業、大学に対しての研修・コンサルティングを担当。数百名を超える参加者も能動的に巻き込むワークショップは定評有り。

③資料説明

平成27年度「教務運営に関するアンケート集計結果」について
共立女子中学高等学校 戸谷 述夫

④分 科 会

- ・今年度は、「高校単独校」「中高併設校（高校募集あり）」「中高併設校（高校募集なし）」の分科会になります。ご希望の分科会をお選びください。
- ・各分科会の定員は概ね20名です。
- ・申し込み状況によっては、ご希望に添えないことがあります。その際は、予めご連絡いたします。ご了承ください。

9. そ の 他

- ・宿泊の部屋は**禁煙の2名1室利用**になります。参加者同士の交流の為、部屋割りは、同じ学校の方同士が重ならないようにさせていただきます。喫煙する場合はエレベーターホール等に喫煙コーナーがございますのでご利用ください。
- ・会場は冷房が強い場合がありますので、必要な方は上着等をご用意ください。

10. 委 員（順不同）

委員長	小坂部 好 史（日本大学第二）	
副委員長	網 干 守（成 城 学 園）	
	戸 谷 述 夫（共 立 女 子）	渡 部 進（跡 見 学 園）
	内 山 誠 至（か え つ 有 明）	尾 崎 威 史（朋 優 学 院）
	山 口 秀 之（成 城 学 園）	太 齋 潔（専 修 大 学 附 属）

11. 記 録 者

葉 子 研（共 立 女 子）	松 川 崇 雄（共 立 女 子）
清 水 美 雪（跡 見 学 園）	荻 野 光 康（か え つ 有 明）
秋 葉 崇（朋 優 学 院）	佐々木 直 也（成 城 学 園）
長谷川 剛（佼 成 学 園）	